

オルフェの庭から 28

日中はまだまだ暑さが残っていても、朝晩の空気に、涼しさが入り込むようになると、心も我に返って、内側から背筋をシャンとさせるものが芽生えてくるのを感じます。

太陽の恵みを十分に受けた米が実り、果実は色づき、気がつけば、セミのなき声は、いつしか虫の声に変わっています。

これまで、外の輝きに向かって息を吐ききっていた一年周期の呼吸は内側に息を吸い込む方へと転換していきます。

昨年からはまったオルフェクラスも一巡りして、再びミカエルに思いを馳せる時がやって来ました。

はじまりに鉄の棒を打ち合わせていると、その響きに、体の内側をめぐる血が反応するのか、内部に力強く呼び覚まされる感覚がおこります。

今年もまたミカエルの歌を歌い、ミカエルの曲を奏でて、その響きに浸り、ミカエルのお話を味わうことができました。会の中で、おひとりおひとりの意識の変化、ものの見え方、感じ方の変化などのお話をうかがうこともできました。

今年ほど、空を広やかな視野でながめる事の多かったことは無かったように思います。

ダイナミックな雲の動き、白い雲と黒雲とのコントラスト、虹や彩雲を見ることが多かったこと、星座の曲との出会いや、星や月や惑星に思いをはせる機会が増えたこと、暑い空気と冷気のぶつかりあい、せめぎあいから生まれる劇的な天候の変化、その中で天と地をつなぐような稲妻の美しさと破壊力等々・・・皆さんの発言からさまざまな気づきが増え、感覚が研ぎ澄まされ、耳が開かれてきたご様子を感じました。

私も日常のさまざまな場面で、ミカエルの姿を見る思いがします。

われもこう 野の暗闇を灯しけり

(内戦中のシリアで銃撃されて亡くなったフリージャーナリスト山本美香さんのお母様が、娘の悲報を受けた晩詠まれた句だそうです)

のんのん

~~~~~『魂のこよみ』ルドルフ・シュタイナー 第26週 <9月29日~10月5日>~~~~~

### ミヒャエル祭の 대기

自然よ あなたの 母なる存在を  
わたしは おのが意志の中に 担おう。  
燃え上がる わたしの 意志の勢いは  
おのれの 精神の衝動を 燃えあげ  
自己の感情を 産む、わたしを  
わたしの中で 支えるために。

### ミカエルの情景

大自然よ、母なる生命よ。  
私の意志の力があなたを支えます。  
この意志の灼熱は  
私の霊のいとなみに光をなげかけ  
自分で自分が支えられるような  
強い自己感情を育てます。  
(高橋巖訳 イザラ書房刊) 現在、ちくま文庫刊

### ミヒャエルの情景

大いなる自然よ、母なるいのちよ  
私の意志のなかにあなたを担います。  
そして私の燃えあがる意志の炎は  
みずからの精神を剣のように鍛えあげ  
そこから生まれた確実なる自己感情によって  
自分のなかでしっかりと、  
自分を支えていくことができるのです。  
(鳥山雅代訳 水声社刊)